

0210 | 英語 I

2 単位（通信授業 2 単位）

野口克洋教授、ポール・カンダサミ教授、相原優子教授、小澤智子教授、田沢恭子講師

授業の概要と目標

教科書として Rosemary Davidson の *What is Art?* (Oxford University Press) を使用する。この書は読者に美術・デザインの作品を見たり、考えたり、制作したり、発見したりするための指針を分かりやすく与えようと書かれたものである。

この教科書を用いることによって、英語の基礎力の充実をはかるとともに、英語を通じて一般教養を身につけ、あわせて専門分野で必要となる美術・デザイン関係の書を英語で読む学力を養うことをめざす。

課題の概要

○通信授業課題 1

教科書の P.4 ～ 17 の範囲でレポート課題。

○通信授業課題 2

教科書の P.18 ～ 29 の範囲でレポート課題。

* 課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書の第 1 章から第 3 章を使用する。

第 1 章 Looking and seeing

第 2 章 What's art for?

第 3 章 Magic and making things happen

成績評価の方法

◎科目試験

教科書の該当部分を中心に出题する（記述式）。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：Rosemary Davidson, *What is Art?* (Oxford University Press)

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年）

『英語 I [解説書]』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2002 年）

0220 | 英語 II

2 単位（通信授業 2 単位）

野口克洋教授、ポール・カンダサミ教授、相原優子教授、小澤智子教授、田沢恭子講師

授業の概要と目標

教科書として Rosemary Davidson の *What is Art?* (Oxford University Press) を使用する。この書は読者に美術・デザインの作品を見たり、考えたり、制作したり、発見したりするための指針を分かりやすく与えようと書かれたものである。

この教科書を用いることによって、英語の基礎力の充実をはかるとともに、英語を通じて一般教養を身につけ、あわせて専門分野で必要となる美術・デザイン関係の書を英語で読む学力を養うことをめざす。

課題の概要

○通信授業課題 1

教科書の P.30 ～ 49 の範囲でレポート課題。

○通信授業課題 2

教科書の P.50 ～ 67 の範囲でレポート課題。

* 課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書の第 4 章から第 6 章を使用する。

第 4 章 Telling a story

第 5 章 Face to face

第 6 章 Body language

成績評価の方法

◎科目試験

教科書の該当部分を中心に出题する（記述式）。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 2～4 年次

[履修条件] 「英語 I」の単位を修得していること。

ただし、編入学生で「英語 I」に相当する学習歴を有する場合は履修できる。

[備考] なし

教材等

教科書：Rosemary Davidson, *What is Art?* (Oxford University Press)

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年）

『英語 II 〔解説書〕』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2002 年）

0230 | 英語 III

2 単位（通信授業 1 単位、面接授業 1 単位）

野口克洋教授、ポール・カンダサミ教授、相原優子教授、小澤智子教授、田沢恭子講師

授業の概要と目標

「英語 III」は「英語 I」、「英語 II」で身につけた英語力の上に立って、実際に話したり、聞いたりする実践英語の能力を養うことをめざしている。教科書の *A New Approach to English Communication* は Part One と Part Two に分かれている。

Part One は単語を組み立てて英文を作る能力をつけるためのもので通信授業で用いる。Part Two は会話篇で、面接授業のためのものである。

課題の概要

○通信授業課題

教科書の Part One の全てを範囲にしてのレポート課題。

○面接授業課題

教科書の Part Two の全てを、実際に授業に出席して、教室においてそれをこなすこと。

* 課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

通信授業



面接授業

[通信授業]

教科書の Part One を全て使用する。19 の基本的なパターンの英文を示し、応用例と解説及び練習問題を付けたもので、英文を組み立てて作る能力を養う。

[面接授業]

教科書の Part Two を全て使用する。教科書は、Campus Life, Art, Museumなどを Topics とした 8 のチャプターから成るもので、各チャプターには練習問題が付いている。これを用いて、教室で実際にスピーキングとリスニングの力を養う。

成績評価の方法

通信授業課題と面接授業の総合評価

履修条件及び履修年次

[履修年次] 2～4 年次

[履修条件] 「英語 I」の単位を修得していること。

ただし、編入学生で「英語 I」に相当する学習歴を有する場合は履修できる。

[備考] なし

教材等

教科書：武蔵野美術大学外国語研究室編、*A New Approach to English Communication*
(武蔵野美術大学出版局 2003 年)

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』
(武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年)

2160 フランス語初級

2 単位（通信授業 2 単位）

藤田尊潮教授、小幡一雄講師、今村純子講師

授業の概要と目標

初めてフランス語を学ぶ学生を対象に初級文法の習得と日常会話の練習を主な目的としたフランス語入門の授業です。教科書には『パリのミュゼでフランス語！』を使用します。芸術の都パリには、その名の通り数多くの美術館があります。世界的に有名なルーブルやオルセー美術館、ポンピドゥーセンター内の国立近代美術館、ピカソ美術館、クリュニー美術館、また生前の芸術家の住まいやアトリエを改造したロダン、モロー、ザッキンなどの個性的な美術館もあります。この授業は、そのようなパリの美術館紹介を通してフランス語を学べるようにという意図で開設されています。フランス語の発音とつづり字の読み方の基本から始めて文法の規則を少しずつ学び、同時に、実際にパリの美術館を訪れたときに役に立つ会話の練習をしていきます。

課題の概要

○通信授業課題 1

教科書の「フランス語の文字と発音」～ Leçon 5 の範囲でレポート課題。

○通信授業課題 2

教科書の Leçon 6 ～ Lecture の範囲でレポート課題。

* 課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

「フランス語の文字と発音」から Lecture までを使用します。

「フランス語の文字と発音」

Leçon 1 Le Musée du Louvre

Leçon 2 Le Musée d'Orsay

Leçon 3 Le Musée National de l'Orangerie

Leçon 4 Le Musée d'art moderne

Leçon 5 Le Musée de Cluny

Leçon 6 Le Musée Jacquemart-André

Leçon 7 Le Musée Gustave Moreau

Leçon 8 Le Musée du cinéma - Henri Langlois

Leçon 9 Le Musée Rodin

Leçon 10 Le Musée Picasso

Lecture Le Musée Zadkine

成績評価の方法

◎科目試験

教科書の該当部分を中心に、本文、会話文の日本語訳や文法練習問題などから出題します（記述式）。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし ※2006 年度までに「フランス語 I」の単位を修得している場合は履修できない。

[備 考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：藤田尊潮・小幡一雄著『パリのミュゼでフランス語！』（白水社 2002 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年）

『フランス語初級「パリのミュゼでフランス語！」教科書解説書』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2007 年）

その他

推薦辞書：『ディコ仏和辞典』（白水社 2003 年）

2170 フランス語中級

2 単位（通信授業 2 単位）

藤田尊潮教授、小幡一雄講師、今村純子講師、澤村さち子講師

授業の概要と目標

「フランス語初級」の学習を終えた学生を対象に、初級文法の完成とフランス語で書かれたテキストの読解力を養うことを目的とした授業です。教科書は『星の王子さまの教科書』を使用します。『星の王子さま』が優れた文学作品であることは、誰もが承知のことと思いますが、その美しいフランス語のテキストは、同時にフランス語文法を学ぶ上で格好の教材なのです。基礎的なフランス語の文法事項は、ほとんど網羅されていると言ってよいでしょう。教科書は、『星の王子さま』のテキストの抜粋と、初級文法の教科書では学びきれなかった難度の高い文法事項の解説、そして練習問題から構成されています。教科書には、CD が付属されており、練習問題の中にも聞き取り問題がありますから、何度も繰り返し聞くことによって、フランス語の発音に対する感性も磨かれて行くことでしょう。

課題の概要

○通信授業課題 1

Leçon 1 ～ Leçon 5 までの練習問題を解き、レポート用紙にまとめて提出する。

○通信授業課題 2

Leçon 6 ～ Leçon 10 までの練習問題を解き、レポート用紙にまとめて提出する。

* 課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

Leçon 1 から Leçon 10 までを学習します。

Leçon 1 bon と bien の比較・最上級 [avoir + 無冠詞名詞] の熟語表現

vouloir と pouvoir の直説法現在の活用 直説法複合過去

Leçon 2 直説法半過去 半過去と複合過去 dormir, partir, servir 型不規則動詞の活用 さまざまな否定表現

Leçon 3 直説法大過去 直説法単純過去

Leçon 4 指示代名詞 直説法単純未来

Leçon 5 条件法現在 中性代名詞

Leçon 6 接続法現在 所有代名詞 前置詞とともに用いられる疑問代名詞

Leçon 7 分詞節 接続法過去 接続法半過去

Leçon 8 接続法大過去 接続法を要求する表現のまとめ 命令法現在 複合時制における過去分詞

Leçon 9 直説法前未来 直接話法と間接話法

Leçon 10 直説法前過去 疑問代名詞および前置詞とともに用いられる関係代名詞

成績評価の方法

◎科目試験

教科書全体の中から、本文テキストの日本語訳、文法問題およびその応用問題を出題します（聞き取り問題は含みません）。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし（フランス語初級文法の知識を持っていること）

[備考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：藤田尊潮編註『星の王子さまの教科書』（武蔵野美術大学出版局 2007 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年）

その他

推薦辞書：『ロワイヤル仏和辞典 第2版』（旺文社）

『新スタンダード仏和辞典』（大修館）

『プチ・ロワイヤル和仏辞典』（旺文社）

2180 | フランス語上級

2 単位（通信授業 2 単位）

藤田尊潮教授、澤村さち子講師

授業の概要と目標

原文で美術関係の文献を読むことによって、フランス語の読解力を養うとともに 20 世紀美術界の大きな流れを理解する手がかりにしたいと思います。教科書は『マン・レイ「インタビュー」』を使用します。この本は、Man Ray, Ce que je suis et autres textes (Paris, Hoebeke, 1998) から「L'interview de camera」という章を抜粋し編集したものです。この教科書の中でマン・レイはあるときは皮肉っぽく、またあるときはユーモアに富んでいて、まさに彼の作品を彷彿とさせるようなさまざまな表情を見せています。彼のことばに接することによって、私たちは 20 世紀美術という大きな流れの一端に触れることができるでしょう。文章はおおむね平易ですし、巻末には詳細な注が付けられていますから、フランス語の初級文法を習得した学生なら辞書を使って読み進めることができると思います。ともかく、一年間で一冊を読み上げてみましょう。

課題の概要

○通信授業課題 1

教科書の p.5 ～ p.21 の範囲でレポート課題。

○通信授業課題 2

教科書の p.22 ～ p.39 の範囲でレポート課題。

* 課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書本文全体 p.5 ～ p.39 までを使用します。

成績評価の方法

◎科目試験

教科書の該当部分を中心に出题します（記述式）。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 2～4 年次

[履修条件] 「フランス語初級」（2006 年度以前では「フランス語Ⅰ」）の単位を修得していること。または、相当する学習歴を有すること。

※2006 年度までに「フランス語Ⅱ」の単位を修得している場合は履修できない。

[備 考] フランス語の初歩を学び終えた学生を対象にした上級クラスですから、辞書を使ってある程度フランス語の文章を読むことができる必要があります。

またフランス語に多少とも興味があり、原文で美術関係の文献に接してみたいというやる気を持った学生の履修を希望します。

教材等

教科書：藤田尊潮編注『マン・レイ「インタビュー」』（武蔵野美術大学出版局 2002 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』
（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年）

その他

推薦辞書：『ディコ仏和辞典』（白水社 2003 年）

推薦参考書：『パリのミュージでフランス語！』（白水社 2002 年）

0260
0270
0280
0290

健康と身体運動文化Ⅰ～Ⅳ

1単位（面接授業1単位）

（フィットネス） ・第1期：7月23日～7月25日
 ・第2期：7月30日～8月1日
 ・冬期：12月22日～12月24日

北徹朗准教授

授業の概要と目標

現代社会においては、年齢やライフスタイル等を考慮した多層化・多様化した健康への取り組みが大変重要となってきた。この授業では、自己の健康を自主管理できる基礎知識を身につけ、各々のライフステージで健康で豊かな社会生活を実現するための幅広い知識と実践力を学習する。具体的には、身体組成・骨密度・体力測定などのデータを測定し、自分自身の身体の現状を理解し、実感と想像のズレについて追及する。それを踏まえた上で、身体運動の重要性とエクササイズ実施の方法について理解する。

課題の概要

○面接授業課題

自身の身体の内部（身体組成）と外部（体力）に対する機能の現状を理解するために、基礎代謝量、筋肉量、体脂肪率、骨密度などの計測と、各種体力テストを実施する。各データの点検・評価をもとに各自のコンディショニングと照合し、運動処方について考察する。

授業計画

[面接授業]

この授業は実技授業を3日間受講する。実技の実践のほか、実技に関する理論学習が必須であるので筆記用具の持参と学習後のショートレポートの提出を求める。

大学スポーツ施設において3日間の実技が行われる。

第1日 午前：1. 前提講義

2. なぜ運動は大切か

午後：3. ウォーミングアップとクーリングダウンの意義

4. 身体組成の測定、体力測定①

第2日 午前：1. 体力測定②

2. 体力測定の評価

午後：3. 健康と運動、「体力」とは何か

4. ペアトレーニング、バランストレーニング、器具を使わないトレーニング

第3日 午前：1. 骨格筋の構造と機能、トレーニングの原則

2. トレーニングマシンの使い方とトレーニングの記録

午後：3. ストレッチボールを利用したエクササイズ

4. まとめのレポート

成績評価の方法

年齢差を勘案した評価と現状の自己の認識度の評価を点検するためにいくつかの項目にわたってチェックを行う。その内容は、記述式と身体表現によって行う。面接授業は出席が成績評価の重要な要素である。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4年次

[履修条件] 1年間に履修できるのはⅠ～Ⅳのうち1科目のみ。ⅡはⅠの単位を、ⅢはⅡの単位を、ⅣはⅢの単位を修得した者に限る。

[備考] 複数の開講期間のうち、種目に限らずいずれかの期間で受講し合格した場合、同年度の他期間の受講は不可。種目の選択はスクーリング受講申込時に行う（多数の場合抽選による）。Ⅰ～Ⅳとも同じ内容の授業を行う。

教材等

補助教材として授業展開に応じて資料を配付する。

その他

資料：武蔵野美術大学身体運動文化研究室編

『スポーツ・健康と現代社会』（武蔵野美術大学出版局 2015年）

この授業は実技授業を3日間12コマ（30時間）受講する。実技の実践の他、実技に関する理論学習が必須であるので筆記用具の義務づけと学習後のショートレポートの提出を求める。

0260
0270
0280
0290健康と身体運動文化Ⅰ～Ⅳ
(テニス) ・第1期:7月23日～7月25日

1単位(面接授業1単位)

青沼裕之教授

授業の概要と目標

硬式のテニスのゲームは、サーブから始まり、グランド・ストローク(フォア、バック)、ボレー(フォア、バック)、ロブ、スマッシュ等の技術を駆使しておこなうものであり、プレイヤーは、打点やタイミングの習熟とともに、コースや高さの打ち分け、ゲームの駆け引きについて理解する必要がある。フォアハンドのグランド・ストローク1つをとっても、フラット、スピン、スライスの打ち分けがあり、これらをマスターするには、習熟への執着心とかなりの時間が必要である。

そこで、この授業では、ダブルスとシングルのゲームにおいて、それぞれの技術(打ち方)がどういう場面が必要となるかを理解するとともに、練習の仕方を体験し理解することを目標とする。

また、この授業は、グループ学習によって、学生自身が授業へ自主的、計画的に参加することが前提となっている。教師からの一方的な伝達と指示によって技術習得がなされていくような授業ではなく、学生自らが技術を学び取っていく授業にしたい。技術学習の系統、練習方法、自己の技能やその向上過程についての認識を大事にし、そうした認識を自己の内にとどめず、交流し、互いに確認してほしい。

課題の概要

○面接授業課題

- ・テニスのゲームで必要となる技術(打ち方)とルールの理解
- ・グループで学習する練習方法の理解

授業計画

[面接授業]

大学のテニスコートにおいて3日間の実技がおこなわれる。

第1日 午前:学習計画の確認、リーダー・係決定、グリップやコート等の説明、ボールを面でとらえる練習

午後:ボールをスイートスポットでとらえる、いろんな高さのボールを打つ

第2日 午前:グランド・ストロークの打点とコースの打ち分け

午後:ボレー(フォアハンドとバックハンド)とサーブ

第3日 午前:ゲームに必要なルールと戦術の確認

午後:グループ対抗戦(ダブルス)とまとめ

成績評価の方法

テニスの技術の練習方法とゲームに関するルール、ポジション、戦術の理解度、及び授業出席状況をもとに評価する。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4年次

[履修条件] 1年間に履修できるのはⅠ～Ⅳのうち1科目のみ。ⅡはⅠの単位を、ⅢはⅡの単位を、ⅣはⅢの単位を修得した者に限る。

[備考] 複数の開講期間のうち、種目に限らずいずれかの期間で受講し合格した場合、同年度の他期間の受講は不可。種目の選択はスクーリング受講申込時に行う(多数の場合抽選による)。Ⅰ～Ⅳとも同じ内容の授業を行う。

教材等

資料は授業時に配布する。

その他

ラケット・ボールは大学で用意する。テニスシューズを用意してくること。

練習・ゲームでは、楽しき中にも知恵と工夫を盛り込んでほしい。

技術学習と関連させて、室内でテニスに関する講義を行う。

参考書、解説書は図書館に所蔵されているので、各人それを利用する。バリエーションある練習方法、技術・戦術等をそこから学ぶ。

0260
0270
0280
0290健康と身体運動文化Ⅰ～Ⅳ
(護身武術) ・第2期:7月30日～8月1日

1単位(面接授業1単位)

授業の概要と目標

武術は、戈を止めるという意味で、身を守る術のことである。また、英語では martial arts と呼ばれ、そこでは美的センスも問われることもある。例えば空手の型や太極拳の表演などは美しさを競う場合が多い。

この授業では、参加される学生の性別や年齢、体力を鑑みながら、空手、合気道、太極拳、気功などを行い、護身の基礎を養い、武術の楽しさや難しさを味わうことを目標としている。合気道のようにお互いに技を練る武術もあるし、空手のようにミットを蹴ったりしながら鍛える武術もある。太極拳や気功などは、現在健康への指向が強い。それらを適宜行っていく。従って老若男女の参加を歓迎する。

なお、護身とは即ち身を守ることであり、単に技だけのことではない。病気等から身を守ることにも護身である。そのようなことも適宜説明していく予定である。

課題の概要

○面接授業課題

- ・武術における身体運用の理解
- ・身を守ることと健康への理解

授業計画

[面接授業]

大学の卓球場にて3日間の実技が行われる。

- 第1日 午前:オリエンテーション、学習計画の確認、様々な武術の紹介、簡単な体ほぐし
午後:受身と歩法、簡単な技
- 第2日 午前:合気道の技
午後:空手の技
- 第3日 午前:太極拳や気功
午後:武術と護身、総括

成績評価の方法

技だけでなく、授業への取り組み方や、出席状況を勘案して評価する。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4年次

[履修条件] 1年間に履修できるのはⅠ～Ⅳのうち1科目のみ。ⅡはⅠの単位を、ⅢはⅡの単位を、ⅣはⅢの単位を修得した者に限る。

[備考] 複数の開講期間のうち、種目に限らずいずれかの期間で受講し合格した場合、同年度の他期間の受講は不可。種目の選択はスクーリング受講申込時に行う(多数の場合抽選による)。Ⅰ～Ⅳとも同じ内容の授業を行う。

教材等

授業時に適宜配布する。

その他

運動出来る服装、即ちジャージ等を持参すること。長ズボンが望ましい。

また軍手を持参すること。

ペアワークを行う。特に合気道では相手の手を掴んだり、相手に掴まれたりといった技の練習を行う。

0260
0270
0280
0290**健康と身体運動文化 I ～ IV**
(バドミントン) ・ 第 1 期 : 7 月 23 日 ～ 7 月 25 日

1 単位 (面接授業 1 単位)

鬼丸正明講師

授業の概要と目標

バドミントンの初心者を対象として想定し、バドミントンの基礎技術の習得からはじめて、コンビネーション・プレーを習得し、そしてゲーム（シングルス・ダブルス）のルール、ゲーム戦術を集団的に理解・習得して、ゲームを楽しめるレベルに到達することを授業の目標とする。

クラスを男女混合・経験者初心者混合の複数のグループにわけける。コートと用具の準備・整理は学生がグループ主体で行う。授業計画・練習計画は講師が立案するが第 3 日午後の練習は学生がグループごとに立案し実施する。ゲームは第 2 日から行い、第 3 日は各授業時間の後半はグループ対抗のゲームを行う。ゲームの運営は学生が行う。各授業終了時にはミーティングを行い、そこでの議論を記録に残していく。

課題の概要

- ・バドミントンの基礎技術、ゲームのルールと戦術の理解と習得
- ・グループを主体とする集団的学習

授業計画

[面接授業]

大学体育館において 3 日間の実技が行われる。

第 1 日 午前：オリエンテーション

授業の進め方、コートと用具の準備・整理の説明、グループ作り
ストレッチ、ラケット操作

午後：基礎技術の習得（クリア・ドロップ・ヘアピン）

第 2 日 午前：基礎技術の習得（プッシュ・スマッシュ）

午後：サーブ、コンビネーション・プレー

ゲーム（シングルス・ダブルス）ルールの理解

第 3 日 午前：ゲーム戦術の理解・習得

グループ対抗のゲーム（ダブルス）

午後：グループ独自の練習

グループ対抗のゲーム（ダブルス）・総括

成績評価の方法

授業の出席率、グループ運営への参加度を総合して評価する。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1 ～ 4 年次

[履修条件] 1 年間に履修できるのは I ～ IV のうち 1 科目のみ。II は I の単位を、III は II の単位を、IV は III の単位を修得した者に限る。

[備 考] 複数の開講期間のうち、種目に限らずいずれかの期間で受講し合格した場合、同年度の他期間の受講は不可。種目の選択はスクーリング受講申込時に行う（多数の場合抽選による）。I ～ IV とも同じ内容の授業を行う。

教材等

資料は授業時に配布する。

その他

運動に適した服装、室内用運動靴を準備する。ラケット、シャトル等の用具は大学で準備してあるが、個人専用のラケットを使用したい学生は持ってきててもかまわない。

季節柄、着替えとタオル、飲料水は多めに準備しておくことが望ましい。

猛暑の場合、一部の時間を教室での学習に代える場合がある。

講師は声帯全摘者なので、人工・代替音声等を用いて授業を行う。予め了承の上、参加いただきたい。

0260
0270
0280
0290**健康と身体運動文化Ⅰ～Ⅳ**
(バドミントン) ・第2期:7月30日～8月1日

1単位(面接授業1単位)

森敏生教授

授業の概要と目標

バドミントンはいろんな年齢やレベルで楽しむことができます。その共通の面白さは、軽いラケットと独特のフライト性能をもつシャトルを介してラリーのなかで相手と多彩な「駆け引き」(戦術)を展開することでしょう。ラケットワーク(ストローク)を磨き、様々なシャトルワーク(ハイクリア、スマッシュ、ドロップなど)が使えるようになることで、「駆け引き」を伴うラリーの面白さが深まっていきます。この授業ではダブルスのゲームを中心にバドミントンの面白さを探求していきます。

課題の概要

○面接授業課題

下記授業計画による。

授業計画

[面接授業]

この授業は、大学スポーツ施設において実技を3日間12コマ(30時間)受講する。

1. 受講登録とオリエンテーション

ねらい・計画と学習の進め方、バドミントンのゲームと基礎技術、アンケート

2. ストロークのテクニック(1) ドロップ・スマッシュ・ハイクリア

3. ストロークのテクニック(2) ヘアピン、アンダーハンド

4. ストロークのテクニック(3) バックハンド

5. 試合の戦術(1) サーブとサーブリターン

6. 試合の戦術(2) 前後のゆさぶり・スマッシュにつながる配球

7. ダブルスのフォーメーション(1) サイド・バイ・サイドのポジショニングとコンビネーション

8. ダブルスのフォーメーション(2) トップ・アンド・バックのポジショニングとコンビネーション

9. 練習ゲーム(審判、記録、ゲームの運営の方法)

10. グループ対抗戦 試合の作戦と運営法、ミーティング

11. まとめ(学習を総合的に講評、まとめのレポート)

成績評価の方法

定められた受講時間数の出席を要する。「駆け引き」を伴うラリーを味わえる「技能と認識」及びグループワークの取り組みを重視する。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4年次

[履修条件] 1年間に履修できるのはⅠ～Ⅳのうち1科目のみ。ⅡはⅠの単位を、ⅢはⅡの単位を、ⅣはⅢの単位を修得した者に限る。

[備考] 複数の開講期間のうち、種目に限らずいずれかの期間で受講し合格した場合、同年度の他期間の受講は不可。種目の選択はスクーリング受講申込時に行う(多数の場合抽選による)。Ⅰ～Ⅳとも同じ内容の授業を行う。

教材等

資料は授業時に配布する。

その他

①体育館シューズを用意する。

②適宜休息を取りながら進める。ミーティングやミニ講義など知的な学習時間を設ける。

③夏期は発汗も多い。水分を小まめにして熱中症の予防に努める。タオル・予備のTシャツなどを準備する。

0260
0270
0280
0290**健康と身体運動文化Ⅰ～Ⅳ**
(バドミントン) ・冬期：12月22日～12月24日

1単位（面接授業1単位）

浅井泰詞講師

授業の概要と目標

本授業ではバドミントンの初心者を対象とすることを想定し、バドミントンの基礎技術ならびにルール（シングルス・ダブルス）や用具の取り扱いを理解し、実戦的なゲームからバドミントンの楽しさや、スポーツを行う習慣などを見つめる機会とすることを授業の目標とする。

授業は男女混合・経験者初心者混合のペア、またはグループに分けて行い、コート用具等の準備・整理は学生が主体で行う。第1日目と第2日目は主に基礎技術の習得とミニゲームを行い、第2日目午後と第3日目はリーグ戦を行う。試合ごとにペアやグループを代えて、より多くの学生と交流する機会を持てるようにする。

課題の概要

- ・バドミントンの基礎技術、ゲームのルールや用具設置の理解と習得
- ・ペア、またはグループによる活動

授業計画

[面接授業]

第1日 午前：オリエンテーション

授業の進め方、グループ作り、コートと用具の説明・準備、ラケット操作、ラリー
午後：基礎技術の習得（クリア・ドロップ・ヘアピン）
ミニゲーム

第2日 午前：基礎技術の習得（スマッシュ・サーブ）

ミニゲーム・ルールの理解
午後：ゲーム

第3日 午前：リーグ戦

午後：リーグ戦、総括

成績評価の方法

授業の出席率、集団的学習・運営能力を総合的に評価する。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4年次

[履修条件] 1年間に履修できるのはⅠ～Ⅳのうち1科目のみ。ⅡはⅠの単位を、ⅢはⅡの単位を、ⅣはⅢの単位を修得した者に限る。

[備考] 複数の開講期間のうち、種目に限らずいずれかの期間で受講し合格した場合、同年度の他期間の受講は不可。種目の選択はスクーリング受講申込時に行う（多数の場合抽選による）。Ⅰ～Ⅳとも同じ内容の授業を行う。

教材等

資料は授業時に配布する。

その他

運動に適した服装（ジャージ等のスポーツウエア）を着用し、室内用シューズを準備すること。ラケット、シャトル等の用具は大学で準備するが、個人のラケットを使用したい場合は持参しても構いません。また水分補給ができるように飲料水を持参しておくことが望ましい。

0260
0270
0280
0290**健康と身体運動文化Ⅰ～Ⅳ**
(ダンス) ・第2期:7月30日～8月1日

1単位(面接授業1単位)

萩山幸子講師

授業の概要と目標

スペインの南部、アンダルシア地方を発祥とする「フラメンコ」について学ぶクラスです。まず手始めに、セビリア民謡の「セビジャーナス」の踊りをマスターします。これはスペイン人の老若男女、誰もが踊れる最もポピュラーな踊りで、フラメンコの練習生はまずこの踊りから始めます。毎年4月の末に「フェリア」と言われる春祭りがあります。一週間、「カセタ」という沢山の大きなテントの中で皆セビジャーナスを踊り明かします。いつかスペインを訪れた時、その踊りの輪の中へ自然に溶け込んで一緒に踊れる様になりましょう。また、ヨーロッパに於けるスペインの歴史や、スペイン芸術の中に於ける「フラメンコ」や「ロマ」についての資料を配布します。好奇心とチャレンジ精神と、不思議だなどと思う心を持って授業に参加して下さい。今までとは一味違ったスペイン感、フラメンコ感を持てると思います。

課題の概要

○面接授業課題

テキストに沿って、踊る上で大事な知識をまず説明します。(基本的なリズム等)

授業計画

[面接授業]

大学の剣道場に於いて3日間行います。

第1日 午前:学習計画の確認、グループ分け。

基本の説明。(できればビデオ等も活用する)担当教師の手本の実演。

午後:「一番」「二番」の振り付け

第2日 午前:前日のおさらい。「三番」の振り付け。

午後:「四番」振り付け。講義。

第3日 午前:セビジャーナスの総仕上げ。

午後:「フィエスタ」を行う。その後、スペイン談義やフラメンコ論、ダンス論など大いに花を咲かせましょう。

成績評価の方法

まず絶対に出席する事。踊れる様になる事。「休まない、覚える、忘れない、楽しむ。」の精神でやりぬいて下さい。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4年次

[履修条件] 1年間に履修できるのはⅠ～Ⅳのうち1科目のみ。ⅡはⅠの単位を、ⅢはⅡの単位を、ⅣはⅢの単位を修得した者に限る。

[備考] 複数の開講期間のうち、種目に限らずいずれかの期間で受講し合格した場合、同年度の他期間の受講は不可。種目の選択はスクーリング受講申込時に行う(多数の場合抽選による)。Ⅰ～Ⅳとも同じ内容の授業を行う。

教材等

なし

その他

とにかく汗をかきますから、上着は汗をよくとるTシャツ(替えがある方がよい)下はスパッツでもトレパンでも良いですが、女性は長めのフレアスカートがあれば尚良い。

必ずくつ下をはいて下さい。男性は革ぐつ、女性は中ヒールパンプスを用意して下さい(サンダル、ミュール、スニーカーは不可)。少し長めのタオル。

資料はプリントして配布します。

0260
0270
0280
0290健康と身体運動文化Ⅰ～Ⅳ
(ゴルフ) ・第2期:7月30日～8月1日

1単位(面接授業1単位)

鈴木タケル講師

授業の概要と目標

ゴルフは500年以上もの歴史を持つスポーツである。近年では、2016年リオデジャネイロオリンピックから約100年ぶりに正式競技への復帰を果たし、人気の高いスポーツとして国内でもゴルフ人口は多い。本授業では、ゴルフとはどのようなスポーツであるかを理解し、プレーをする上で最低限必要なエチケット・マナー及びルールを学習するだけに留まらず、巧くプレーを行うための道具の知識やスイング動作の基本練習を行う。ゴルフは、イギリス生まれの紳士のスポーツとして知られているため、特にエチケット・マナーやルールについての理解も重視する。授業前半は、クラブの握り方やスイング動作の基本を学習し、授業後半では、グラウンドに仮設コースを設定し、スコアを記録しながらラウンドプレーの方法を学ぶ。

課題の概要

○面接授業課題

- ・ゴルフの歴史と基礎知識
- ・ゴルフ用語と用具の知識
- ・ゴルフスイングの基本
- ・ラウンドの基本

授業計画

[面接授業]

大学のグラウンドで実技を行う。

- 第1日 午前 学習計画の説明 基礎知識の説明
午後 グリップ・アドレス 小さいスイング
- 第2日 午前 前日の復習練習 ハーフスイング
午後 フルスイング 各クラブの練習
- 第3日 午前 パッティング アプローチ
午後 ラウンドの方法

成績評価の方法

授業出席状況 60%、技術マナーに対する理解度 40%

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4年次

[履修条件] 1年間に履修できるのはⅠ～Ⅳのうち1科目のみ。ⅡはⅠの単位を、ⅢはⅡの単位を、ⅣはⅢの単位を修得した者に限る。

[備考] 複数の開講期間のうち、種目に限らずいずれかの期間で受講し合格した場合、同年度の他期間の受講は不可。種目の選択はスクーリング受講申込時に行う(多数の場合抽選による)。Ⅰ～Ⅳとも同じ内容の授業を行う。

教材等

資料は授業時に配布する。

その他

運動着運動靴に着がえ、ゴルフ用手袋の用意をすること。
ゴルフクラブ、ボール等については大学で用意する。

0260
0270
0280
0290**健康と身体運動文化 I ～ IV**
(エチュード) ・冬期：12月22日～12月24日

1 単位 (面接授業 1 単位)

萩山幸子講師

授業の概要と目標

実技では「からだ造り」という点から「柔軟な筋肉」「しなやかなボディライン」「力強い動き」を持つ事を目指す。機具を使わず自分の骨格や筋肉で支える事が出来る様にして「コントロールする事」をからだに覚えさせる。「存在する肉体」という観点から、表現する事とは存在を証明する事とはどういうことかを、演劇、美術、音楽、文学等あらゆる芸術的手法と日常の所作等の手法を用いて「思考する身体」あるいは「心が宿る器」つまり「人間」そのものを追及する体験を実験的、前衛的な方法でやってみる。発想の転換が必要。自己の内面を意識する為の行為を体験してその結果「内なる他者」を見出し、対話し、真に個として確立された存在を造り上げて行く。

課題の概要

○面接授業課題

テキストに沿って、踊る上で大事な知識をまず説明します。(基本的なリズム等)

授業計画

[面接授業]

- 1 インスピレーション (言葉遊び、謎掛け)
背中合わせにもたれ合い互いに浮かんだ言葉を投げ掛ける。瞬時に反応し、自分の中にエピソードを見つけ出す。
- 2 「信頼」「猜疑」「裏切り」「自助」
2人1組で倒れる者と支える者に分かれ、支える方の行動で倒れる方の心理が変化する。
- 3 ダンカンダンス：モダンダンスの始祖、イサドラ・ダンカンの提唱したダンス。
- 4 オーケストラ：円陣を作る。それが演奏者を中心に指揮者役、音楽に合わせコンダクターがまわりの演奏者を指さす。さされた者はジャンプする。
- 5 ゴム人間 (安部公房演劇メソッドより) - 膨張と収縮
2人1組で向き合う。ニュートラルな状態で互いに意識し相手の出方を伺う。「膨張」する者は目が見開いて行き、鼻の穴が膨らんで口が耳まで裂けて行き耳が立って、全身の毛穴が開いて目が増々つり上りうぶ毛も髪も逆立って、胸が広がり、腰が膨らみはち切れんばかり、体が全開になり、腕が高々と持ち上がり巨大な鬼又は後足で立ち上ったヒ熊の様に相手を威嚇し、征服者の様に、脅威そのものになる。反対に収縮する者は目がつぶって行き鼻も閉じて呼吸も小さくなり、口もどんどんオチョボ口になって頬もコケ身幅が狭くなり、うなだれて怯えたウサギの様。次第にその立場が逆転して行く。
- 6 小さなダンスと中位のダンスと大きなダンス
- 7 オブジェクト (形を造る事、形になる事)
2人1組。彫刻家の役と彫刻の役。アーティストがオブジェの手足を自由に動かし作品を創る。
- 8 見返り美人 (声と演技)
歩く人間と呼び止める人間に分かれる。様々な声のトーンで相手の名前を呼ぶ。その声の調子で状況が決まる。立ち止まり振り返る方はそれによって振り返り方やその時の表情が違って来る。2人の間にドラマが生まれる。
- 9 シャボン玉マジック (想像力と集中力)
シャボン玉を作っているとする。それを運ぼうとする。途中で割れる。また作る。そーっとそーっと運ばないとシャボン玉はすぐ消えてしまう。

成績評価の方法

まず絶対に出席する事。「楽しむ」の精神でやりぬいて下さい。授業への熱心な取り組みを望みます。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4年次

[履修条件] 1年間に履修できるのはⅠ～Ⅳのうち1科目のみ。ⅡはⅠの単位を、ⅢはⅡの単位を、ⅣはⅢの単位を修得した者に限る。

[備考] 複数の開講期間のうち、種目に限らずいずれかの期間で受講し合格した場合、同年度の他期間の受講は不可。種目の選択はスクーリング受講申込時に行う(多数の場合抽選による)。Ⅰ～Ⅳとも同じ内容の授業を行う。

教材等

なし

その他

“ダンス”“パフォーマンス”“演劇”という先入観を持たず、好奇心を持って臨んでください。

授業以外ではなるべく様々なジャンルの芸術に触れて、ボーダーレスな感性を培ってください。

授業の時必ずくつ下をはく事。必ず着替える事(特にジーンズ等体を締めつける服装は不可)。

長めのタオルを持参すること。アクセサリははずすこと。バレエシューズ等を用意できない場合は、足裏にすべり止めのついた厚手のくつ下を使用すること。

0260
0270
0280
0290

健康と身体運動文化Ⅰ～Ⅳ

1 単位（面接授業 1 単位）

（卓球） ・第 1 期：7 月 23 日～7 月 25 日
・冬期：12 月 22 日～12 月 24 日

里見悦郎講師

授業の概要と目標

卓球は年齢、性別に関わらず体力に応じて楽しむことができるスポーツです。木製の台の中央のネットをはさみ、ボールをラケットで打ち合い得点を競います。返球のための時間が短く、瞬時にボールのコースを読み、打ち返すなどすばやい判断力と敏捷性が求められるスポーツです。そして、実力と体力に合わせゲームを楽しむことでレクリエーショナルなスポーツとして生涯を通じて続けることができるスポーツでもあります。授業ではラケットの持ち方から、サービスの仕方、ボールへの回転の付け方など基本技術から地道に学び、ゲームを楽しみ、スポーツのある生活の意義を考えてもらいます。

課題の概要

○面接授業課題

- ・卓球の基本テクニックを学び、シングルス・ダブルスゲームを経験する。
- ・シングルス・ダブルスゲームを実力に合わせて楽しみ、スポーツのある生活の意義を考える。

授業計画

〔面接授業〕

大学の卓球場にて、3 日間の実技を行う。

第 1 日 ①チーム編成、用具の説明と具体的な授業の進め方の説明。

②ラケットの握り方（ペンホルダーグリップ、シェークハンドグリップ）。

③打法の習得

ショート打法（プッシュ、ストップ）、ロング打法（フォアハンド・バックハンド）、カット打法（フォアカット、バックハンド）。

④サービスの技法の習得（フォア、バック）

⑤ルールの習得（シングルス・ゲーム）

⑥サービスからラリーへの入り方の練習

⑦クロス・ラリーの練習と練習試合

⑧シングルスルールの学習と練習試合と審判実習

⑨戦術の研究と練習試合

第 2 日 ①ゲームを中心にした授業へ移行

②ダブルスのローテーションの練習とルール（ダブルス・ゲーム）の学習

③戦術の研究

④チームワークの研究

⑤シングルスゲームとダブルスゲームによる練習試合

⑥チーム対抗試合の企画と運営

第 3 日 実力に合わせた対抗試合を楽しみ、卓球のテクニックを磨く

成績評価の方法

全授業の出席状況を基に、ゲームへの取り組み方、テクニックの上達など総合的に評価する。

履修条件及び履修年次

〔履修年次〕 1～4 年次

〔履修条件〕 1 年間に履修できるのはⅠ～Ⅳのうち 1 科目のみ。ⅡはⅠの単位を、ⅢはⅡの単位を、ⅣはⅢの単位を修得した者に限る。

〔備考〕 複数の開講期間のうち、種目に限らずいずれかの期間で受講し合格した場合、同年度の他期間の受講は不可。種目の選択はスクーリング受講申込時に行う（多数の場合は抽選による）。Ⅰ～Ⅳとも同じ内容の授業を行う。

その他

ラケット、ボール等の道具は学校に整備されている。卓球にふさわしい運動ができる服装、シューズを各自準備する。

テキスト・参考文献として、本・ビデオ等を準備する。

0300 | 健康と体力研究

1 単位（通信授業 1 単位）

北徹朗准教授

授業の概要と目標

この授業は、通信授業として位置づけられているが、授業の内容からして理論と実践の統一こそが課題であり目標である。この通信課題では、健康で活力ある人生を送るための基礎研究として、自分の身体や体力の現状を把握し、それに応じた生活習慣とは何かを考察することを目的とする。

課題の概要

○通信授業課題

交通、通信、宅配、インターネットなど、現代社会は便利なもので溢れている。「便利である」とはどのようなことか？を考えた時、それは如何に身体を動かすことなく省力化した日常生活を送るかということとも捉えられる。

人類 10 万年の歴史において、おなかいっぱい食べられるようになり、前述のような便利な社会が到来したのはごく最近のことである。私たちの祖先はアフリカ大陸からシベリアを経て日本列島に辿り着いた。こうした経緯から、日本人を含む東アジアの人々は欧米人に比べて食事によって得たエネルギーをできるだけため込もうとする、いわゆる“儉約遺伝子”が強く作用していると考えられている。日本においてもファストフードや食の欧米化は既に広く普及しており、現代社会に生きる私たちは「エネルギー摂取とエネルギー消費（インとアウト）のバランス」に注意を払う必要がある。食物の栄養素のバランスも勿論大切であるが、エネルギーのインとアウトのバランスを保つことは、身体運動が省力化された便利な現代社会では困難となっている。

この通信課題では、健康で活力ある人生を送るための基礎研究として、自分の身体や体力の現状を把握し、それに応じた生活習慣とは何かを考察することを目的とする。

授業計画

[通信授業]

教科書の該当部分を使用する。

成績評価の方法

提出課題の評価による。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：武蔵野美術大学身体運動文化研究室編『スポーツ・健康と現代社会』
（武蔵野美術大学造出版局 2015 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』
（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年）

その他

身体と運動、身体と健康、健康と環境、スポーツと健康、運動と健康等に関して、専門情報誌やマスメディア、インターネット等を利用して情報収集することが望ましい。

0310 | 身体運動文化研究

1 単位（通信授業 1 単位）

青沼裕之教授、森敏生教授

授業の概要と目標

私たちは様々な理由からスポーツを欲している。「健康やダイエットのため」「仲間との触れあいがほしい」「上達して気持ちよくプレーしたい」等々。しかし、日本の地域社会の現状は、スポーツを愛好する国民の要求を十分に満たしうるにはほど遠い。地域差もあるだろうが、スポーツをする時間、施設、指導者等の客観的な条件が整っていないところが多く、要求があっても活動するまでにいたらないという声をよく聞く。

そこで本講座では、スポーツの環境、国や自治体の政策、国民がスポーツを我がものとするための運動に視点を定めて、問題意識を深めるとともに上述した課題解決の方途を探ってみたい。

課題の概要

○通信授業課題

レポート課題の選定にあたっては、以下の点に注意してほしい。

- ・課題 A、課題 B のうち、どちらかを選んでレポートを作成すること。
- ・課題によっては複数のテーマの中から 1 つを選択することになっているので、その点注意すること。
- ・テキストや参考文献については学習指導書に書かれているので、参照すること。
- * 課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書や参考資料を使用する。

成績評価の方法

提出課題の評価による。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：武蔵野美術大学身体運動文化研究室編『スポーツ・健康と現代社会』
（武蔵野美術大学出版局 2015 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』
（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年）